

先日、足を捻挫してしまい、しばらくの間、サポーターをつけて松葉づえをつけて通勤していました。

ケガをして、色々気が付くことができました。

まず、階段がかなり怖いということ。それも上るときより降りるときが大変怖いです。また、ホームドアが設置されていないとホームの狭くなっているところを歩くとき、かなり恐怖を感じます。

下りのエスカレータの必要性があらためてわかりました。下りエスカレータもエレベータもない、バリアフリー非対応の駅がかなりあります。階段の手すりにしがみついて降りながら、バリアフリーの重要性を痛感しました。

また、健康な人は歩くスピードがかなり速くて、それだけで足の悪い人間には脅威です。

会社の近くの学校の元気な中学生たちをふだんは微笑ましく感じるのですが、足の悪い時に周囲を走り回られると、衝突されたら怖いという感情が先にきます。健康であるということはいいいことですが、その反面、健康であることそれ自体が人を脅かすこともあるようです。

バリアフリーを必要とする人はベビーカーや車いすを使う人や高齢者だけではありません。誰でもいつケガをするか分かりません。

他人事ではなく自分のこととしてもっと真剣に考える必要があると思いました。(M.K)

携帯やスマホに、普段見慣れない電話番号から不在着信が入っていることがたまにあります。重要な内容であれば掛け直してくるだろうというスタンスで、身に覚えのない番号に自分から掛け直すことは一切しないのですが、どこから掛かってきたかは気になるため、私はいつもその電話番号をネットで検索することにしています。

普通の検索エンジンに、ダイレクトに市外局番から番号を打ち込み検索すると、「その番号の相手先は〇〇〇です。」と教えてくれます。一般の固定電話だった場合は、単に「固定電話」と出るだけですが、公共性の高い企業や営業によく使われる番号の企業は社名が出ますし、しつこい営業電話がクレームになっている番号については、そうしたことを紹介するページまで見られるので便利です。

テレビでは、毎日のように振り込め詐欺や特殊詐欺対策の意識付けをする番組が放送されていますが、胡散臭い電話がかかってきたら、番号検索してみるのもいいかもしれません。特殊詐欺系の番号ブラックリストもおそらくネットには上がっているだろうから、ヒットするのではないかと思います。いやはや便利な世の中になったものです。

また、フィッシング系のメールも、中に書かれた特徴的なキーワードで検索すると、ほぼ正体が判明するので同様に便利で、お勧めです。(Y.H)

こんな時が危ない!

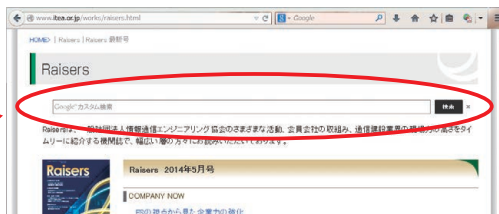
- 工事繁忙期よりも、終期、特に撤収作業時
- 非常に危険と思われる作業よりも、それほど危険と思われない作業時
- 同一作業が長く続くよりも、1日~2日とか半日、あるいはもっと短時間で終わる作業時
- わかりきった常識的な作業手順を守らない時
- 作業時に積極的な人が、指示以外の作業をした時
- 安全設備を取りつける段取りに取りかかる前
- 教育を十分うけているはずの職長や工事監督がルール無視の行動をした時
- 立入り禁止箇所、危険箇所を承知していて、そこへ行った時

「Raisers」はホームページでも閲覧可能です!

「Raisers」の最新号から過去記事までホームページで閲覧することができます。

<http://www.itea.or.jp/works/raisers.html>

また、ホームページ内の検索窓から読みたい記事の関連キーワードにより全文検索も可能です。是非ご活用ください。



Raisers第 67 巻 第4号 (通巻第737号) 2019年7月5日印刷 2019年7月10日発行

本体価格600円(税別) ※会員、特別会員の本誌の購読料は、会費の中にこれを含む

■編集 一般社団法人情報通信エンジニアリング協会 〒150-0033 東京都渋谷区猿樂町3-3

Tel. (03) 3464-3211(代) Fax. (03) 3464-3216

■発行所 一般社団法人電気通信協会 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-1-1 如水会ビルディング6階

Tel. (03) 3288-0608 Fax (03) 3288-0615

(本誌掲載記事の無断転載を禁じます。)

